令和７年度事業報告

令和７年４月１日～令和８年３月31日

公益財団法人　伏木富山港・海王丸財団

◇海王丸パーク◇（面積:約10. 0ha）

◇富山新港臨海野鳥園◇（面積:約4. 6ha）

◇富山県新湊マリーナ・新湊マリーナ緑地◇（面積:約16. 5ha）

令和７年度の海王丸パークの入込数は 88.57 万人、前年比 4.09 万人の増（＋4.8%）となった。これは、令和６年１月１日に発生した能登半島地震（地盤の隆起・沈下・液状化等の被害が発生）の影響により、能登と県内を周遊するツアー等が控えられていた頃から徐々に回復傾向にあるものと思われる。

帆船海王丸の総帆展帆は、昨年度に続き荒天や夏の異常な暑さなどが続き、予定していた 10 回のうち４回の実施となった。海洋教室は予定していた 22 団体を受け入れ、うち宿泊は９団体（昨年度は６団体）を受け入れた。

春・夏の大型自主イベントを予定どおり開催するとともに、民間団体等による音楽・フードフェス、バイクラリーイベント、車のイベントなど多彩なイベントが海王丸パークを会場として催された。

新湊マリーナは、令和６年度から新たに専門業務（クレーンによる船の上下架等）と、船舶用の燃料販売を開始しているが、こうした作業を行うために必要な資格等を持つ人員の確保・育成という課題は残るものの、今のところ運営に大きな支障はきたしておらず、今後も安定したサービスの提供に努めてまいりたい。

Ⅰ　海王丸パークの管理運営

１　パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等

(1) 植物管理

・芝管理（約 1.9ha）

・樹木管理(プランター植栽、剪定、害虫駆除、雪囲い等)

(2) 施設管理

・清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）

・自家用電気工作物保安管理、遊具点検・補修

・「展望広場」の供用（H30.４月～）

利用サービス向上の観点から大雪・風雪注意報発令時や 12m以上の風が続く場合に限り閉鎖し、開放の機会を増やした（R4.11 月～）。

※ R4.11 月までは、上記条件に加え、雷・強風・大雨注意報発令時も閉鎖

（展望広場）

・案内看板の増設

※ 来園者に野鳥園への誘導を促すため、これまでも案内看板を増設しているが、令和６年には新湊ライオンズクラブから、県に海王バードパークの案内看板が寄贈された

（野鳥園への誘導看板）

・R5.６月、海王丸パーク周辺を「徒歩で散策」する案内マップを作成。HP で紹介するとともに、日本海交流センター（事務室窓口）及び海王丸乗船窓口に配架している。

※案内マップは、新湊大橋の「あいの風プロムナード」を往復するショートコース（約３km・約１時間）と、内川周辺を巡り、帰りは万葉線で戻ってくるロングコース（約４km・約 1.5 時間）の２種類

2　日本海交流センターの管理運営

(1)　展示ホールでのパネル展示等

①　「世界の帆船模型展」に加え、令和４年度から「海王丸関係資料等の展示」、「展示用パネル」を常設し、常設展示物の充実を図っている。

（海王丸関係資料等の展示）

（展示用パネルの常設）

②　「世界で最も美しい湾クラブ」加盟の紹介

③　「きららか射水」の紹介

④　環日本海地域へのゲートウェイ・日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港の紹介

⑤　「わたしたちと海」の紹介

(2)　施設の利用促進

研修室の会議等への利用、談話室の賃貸

(3)　館内の清掃、機械警備等

3　帆船海王丸保存事業

帆船海王丸を「海に浮かぶ生きた帆船」の姿で保存し、美観を守るため、船体の諸法定検査の受検と定期的な保守点検作業及び整備保存工事を行うとともに、乗船者の安全確保に努めた。

(1) 法定検査等

①　船舶安全法にかかる検査　第１種中間検査（毎年）　令和７年７月９日

②　消防設備保守点検　令和７年９月 17 日、令和８年３月 11 日

(2) 日常の保守点検整備

①　公開区域の保守整備（清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き等）

②　マスト・ヤード・セイル等帆装艤装設備の保守、点検、補修及びセイルの製作

③　船体各部の発錆部の補修等

④　カッター（６艇）の保守管理

(3) 船体整備等

①　船体及び展示マスト・ヤードの塗装

②　セイルの取付け及び取外し

③　帆装艤装整備

④　電灯改修

⑤　非常用発電機整備

(4) 災害防止

船内防災センターにおける 24 時間集中監視の実施

4　帆船海王丸公開事業

帆船海王丸船内を一般公開した。

また、海王丸カレンダーの印刷配布、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどによる各種情報の発信を行い、帆船海王丸のＰＲに努めた。

有料乗船者のうち、希望者に対してはロゲットカードを配布した。

(1) 一般公開

強風のため令和８年１月 11 日、降雪や積雪のため令和８年１月 22 日～26 日、29 日～２月１日及び７日～９日の期間については一般公開を休止した。

これら以外の期間については、定休日、船体整備期間（４月５日～６日、10 月 29 日～11 月 21 日、２月 16 日～３月 11 日）を除き、一般公開を実施した。

① 公開時間

区分	期　間	時　間
ア	４月１日～７月 18 日 ９月１日～10 月 28 日 ３月 12 日～３月 31 日	９時 30 分～17 時
イ	７月 19 日～８月 31 日	９時 30 分～18 時
ウ	11 月 22 日～２月 15 日	９時 30 分～16 時

② 乗船料の減免（無料）

・海王丸進水記念日　２月 14 日
・総帆展帆日の小学生、学校行事で乗船する小学生と引率者　など
・パワーバレンタインウィーク期間中のペア及び海王丸公式 SNS フォロワー
・パワーバレンタインウィーク最終日

③ 乗船者数　53,573 人　一般公開以来の延べ乗船者数　2,381,953 人

年　度	乗船者数
令和３年度	31,940 人
令和４年度	56,307 人
令和５年度	56,297 人
令和６年度	49,993 人
令和７年度	53,573 人

(2) 総帆展帆とボランティアの育成

① 総帆展帆の実施

10 回予定のところ４回実施した。（荒天や夏の酷暑の影響により６回中止）

６月８日のみ、フルセイル（全 29 枚を展帆）を実施した。

（総帆展帆）

② ボランティアの育成

新規ボランティア数は 42 人（R⑥39 人）

ア　ボランティア登録者数（令和８年３月末現在）

区　分	人　数		
登録者数	男　548 人	女　344 人	計　892 人

イ　「ボランティアの集い」

日時：令和７年 12 月７日　11 時～12 時

場所：クロスベイ新湊（２階 iCN ホール）

参加人数：63 人

（ボランティアの集い）

(3) 帆船海王丸の縦帆ミニ展帆、満船飾

縦帆ミニ展帆：イベント開催日等に縦帆４枚を展帆。６回実施

４月 11 日、５月４日、７月 13 日、27 日、９月７日、15 日

※ ４月 20 日、29 日、５月 18 日、６月 15 日、８月 11 日、10 月 13 日、11 月２日は荒天等のため中止

満船飾：記念日に国際信号旗を掲揚。２回実施

７月 21 日、２月 14 日

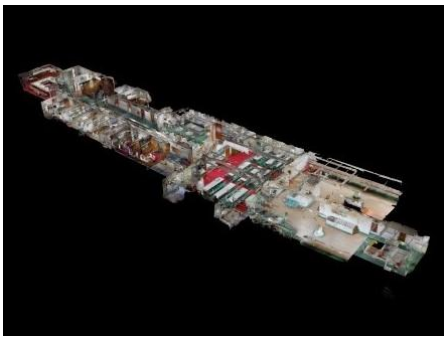
※　５月４日、８月 11 日、11 月２日は荒天等のため中止

(4) ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等

・帆船海王丸に関する情報、海王丸パークで開催される各種イベント情報等を掲載

・平成 30 年 12 月から、海王丸の３ＤとＶＲ（仮想現実）の映像を公開

・令和２年４月から、スマートフォン、タブレット等に対応したホームページにリニューアルした



（海王丸の３ＤとＶＲ（仮想現実）の映像）

（ホームページのリニューアル）

(5) 夜間イルミネーション、ライトアップ

イルミネーション：　毎日（船体整備期間を除く）、日没時から 22 時まで実施

ライトアップ　　：　毎日、日没時から 22 時まで実施。

※ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間（4/2～8）はブルー、
世界小児がん啓発月間（9/9）はゴールド、
手話言語の国際デー（9/23）はブルー、
パワーバレンタインウイーク（2/9～15）はピンク、
国際女性デー（3/1～8）はオレンジに、それぞれライトアップを変更した

（世界小児がん啓発月間（ゴールド）

（パワーバレンタインウイーク（ピンク）

5　錬成等事業

帆船海王丸を活用し、規律正しい団体生活を通じて、児童、生徒、青少年の公徳心、友愛、協調性及び責任感を体験習得させ、海と港と船に関する理解と知識を広めるため、海洋教室を開催した。

(1) 青少年錬成事業

・海洋教室の開催

コース別	開催期間	参加団体数	参加者数	主な内容
宿泊コース	５～10月	９団体	359人 (うち引率 68人)	船内見学、結索実習 甲板清掃、操帆実習 ﾏｽﾄ登り、ｶｯﾀｰ訓練
日帰りコース	５～10月	13団体	633人 (うち引率 66人)	
計			992人 (うち引率134人)	

(手旗信号訓練)

(マスト登り)

(2) 「帆船海王丸絵画コンクール 2025」の実施

(第 29 回「ぼくらの夢帆船」帆船海王丸絵画コンクール)

小学生(射水市内及び県東部の小学生)を対象に絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、日本海交流センターに展示。

コンクールを通じて、児童の海・港・船に関する理解と知識が深まるよう努めた。

・応募数　　168 作品

・入賞作品展示　　９月 21 日～10 月 26 日、日本海交流センターホールで展示

・表彰式　　10 月 26 日、日本海交流センター第１・２研修室

(下学年の部最優秀作品)

(上学年の部最優秀作品)

6　海事広報活動の普及・推進

滑川高等学校生の受入れ（海王丸を活用した海事教育）

・２年　12 月　９日　 11 人、引率３人

・３年　12 月 10 日　　７人、引率３人

7　イベントの実施（財団主催行事）

(1) 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式（４月 11 日）

・鯉のぼりの掲揚（４月 11 日～５月５日）

・花の迷路の設置（４月 11 日～11 月 30 日）

(2) ちびっ子天国 in 海王丸パーク（５月５日～６日）

・カーボンニュートラルクイズラリー、
ふわふわペンギン、ちびっこ遊具、
みんなを守る車展示、クラシックカー展示、
キッチンカー、親子工作教室、
フリーマーケット等を実施。
来場者約 3.50 万人

(3) 海王丸パークフェスティバル（７月 20 日～21 日）

・海の日を記念して、海王丸船長との記念撮影、
なごクルーズ等を実施。
来場者約 1.67 万人

(4)　パワーバレンタインウィーク　in 海王丸パーク（２月９日～15 日）

２月 14 日が「進水記念日」とバレンタインデーであることを記念して開催

・進水記念日は乗船料無料

・パワーバレンタインウィーク期間中のペア及び
海王丸公式 SNS フォロワー乗船料無料

・パワーバレンタインウィーク最終日乗船料無料

・特製チョコプレゼント（２月 14 日）

・満船飾、特別公開見学会(海王丸の非公開区域)

(5)　「恋人の聖地」関連事業の実施

・海王丸パークのシンボル「帆船海王丸」が H25.1 月に「恋人の聖地」に選定され、同 10 月に「恋人の聖地記念モニュメント」を設置

・H30.7 月に「帆船海王丸」が「ふね遺産」に認定されたことを記念し「海王丸幸せの

パワースポットシリーズ」として、「幸せのペア帽子」及び「幸せの愛カギ」の販売、「幸せのフォトフェイス（顔出しパネル）」の設置を展開

・R5.9月からは新たに、希望の時刻に合わせて、事前に預かったメッセージを海王丸の船内放送で読み上げる「幸せのベル・サプライズメッセージ」をシリーズに加えた

・また、コロナ禍により R3・4 に受付を中止していた海王丸の「船上結婚式」を R5.11 月に再開している

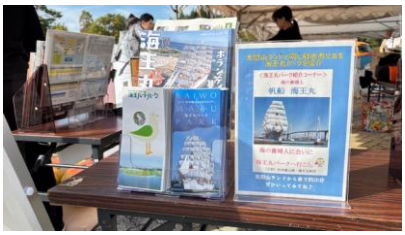
(6)　2026 年海王丸カレンダー作成

総帆展帆予定日を記載したＡ２判カレンダーを 1,200 部作成し、県内小中学校・旅行業者等に配布した。

◎海王丸パークの年間入込数　　885,700 人

年　度	年間入込数
令和３年度	577,000 人
令和４年度	853,600 人
令和５年度	841,000 人
令和６年度	844,800 人
令和７年度	885,700 人

8　他団体とのコラボレーション



(1)（公財）県民福祉公園

太閤山ランドのイベント開催時に、帆船海王丸ＰＲブースを設置した。

(2) 射水市立施設

新湊博物館、大島絵本館との間で三施設相互利用割引を実施している。

(3) 射水市観光協会

第 59 回富山新港花火大会

(4)（公財）帆船日本丸記念財団

双方の総帆展帆実施にあたり、相互派遣協定を締結し協力関係を構築している。

(5) その他

5 月 9 日に寄港した豪華クルーズ船「アザマラ・パシュート」の乗客に対し、乗船料を無料として受入れに協力、船内案内を富山高等専門学校生が行った。

Ⅱ　臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

1　野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

休園日を除く日曜日、祝日を中心に、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。来園者に野鳥に関する知識を深めてもらうため、観察センター内に野鳥図鑑や関係資料を備えておくとともに、野鳥愛好家が撮影した貴重な写真などを展示。

また、ホームページ、フェイスブック等を活用し、季節によって観察できる野鳥が異なることなどもＰＲした。

2　探鳥会（５回）の開催

渡り鳥の飛来時期などに合わせて、野鳥に関する知識の豊富な講師を招いて探鳥会を年５回実施。うち１回は、野鳥講演会を併せて開催

(1) 探鳥会

回	開催期日
1	４月６日
2	11 月９日
3	12 月 14 日
4	２月 15 日
5	３月 15 日

（探鳥会）

(2) 野鳥講演会

３月 15 日　探鳥会と同日に実施

講師：高畑　晃 氏（日本野鳥の会富山 事務局長）

演題：「富山の野鳥　−減った鳥・増えた鳥−」

(3) 年間入込数　　2,760 人（R⑥ 2,230 人）

来園者が減少傾向にあったことから、これまでも海王丸パークから野鳥園に誘導する「案内板」を増設しているが、令和６年に新湊ライオンズクラブから、海王バードパークの案内看板が県に寄贈された。その効果もあり、入込数が増加した。

(4) 野鳥観察指導員登録者数　25 人

Ⅲ　新湊マリーナの管理運営

設備・機械の保守・安全点検や構内見回りにより、マリーナの安全な利用環境の確保に努めた。

1　マリーナ施設及び同緑地の管理運営

・50ｔテルハ式クレーン保守点検（１回／年）
・20ｔ自走式クレーン保守点検（１回／年）
・ジブクレーン保守点検（日常点検）
・浮桟橋保守点検（１回／年）
・消防設備保守点検（２回／年）
・自家用電気工作物保安管理（１回／月等）
・新湊マリーナ夜間巡回警備（繁忙期：２回／日、閑散期：１回／日）
・監視カメラ・ライブカメラによる監視
・構内見回り（緑地管理・保管艇管理)、機器の安全点検（１回以上／日）
・保管艇増に伴う上記作業量増に対応した人員体制及び有資格者の確保
・令和６年度からの新たな業務（クレーンによる船舶の上下架、燃料販売業務）を開始するため体制を強化（マリーナ課の設置）した。

2　マリーナ保管・利用状況　（令和８年３月末現在 登録数 330 艇）

(1) 登録数（艇）

区 分	陸置艇	競技用小型ヨット	桟橋係留艇	合計
3 月末現在 （A）	125 艇	81 艇	124 艇	330 艇
保管可能数 （B）	258 艇	100 艇	183 艇	541 艇
収容率 （A／B）	48%	81%	68%	61%

(2) 保管艇内訳　（令和８年３月末現在の保管艇内訳）

区 分	大型ヨット	競技用小型ヨット	モーターボート	合計
保管艇	37 艇	81 艇	212 艇	330 艇
割 合	11%	25%	64%	100%

3　利用促進等事業

(1) 営業時間の延長（平成 29 年度から）
４月１日から９月 30 日までの土日祝については、営業時間を午前８時 30 分から終了時間を 30 分延長し午後５時 30 分までとした。

(2) 高圧洗浄機のレンタル（平成 21 年度から）
利用者へのサービス向上のため実施

(3) 修理ヤード利用料金の無料化（平成 22 年度から）
利用（契約）者に対するサービスとして、修理ヤードの利用料金（日額 2,100 円）を無料としている。

(4) ホームページ及びフェイスブック（平成 27 年度から）による情報提供
毎日の風向風速・釣果情報・イベント案内・スタッフのブログ等、情報発信に努めている。平成 28 年度からはライブカメラを設置し、ホームページで公開している。

(5) 国際ＶＨＦ無線の基地局設置（平成 24 年度から）
利用者アンケートからの要望により国際ＶＨＦ無線を設置した。これにより、海上にいる利用者へ気象情報や安全情報を提供している。

(6) 早朝開門の実施（令和３年度から）
４月１日から 11 月 30 日までの土日祝については正門を午前５時に開門し、利用者の利便を図った。

(7) 修理ヤードの増設（令和４年度から）
手狭となっていた修理ヤードを陸上保管ヤードの一角（空きスペース）に新設した。

(8) ガイドブックの作成
令和６年度に施設の利用マナーを分かりやすく解説したガイドブックを全契約者に配布した。

（ガイドブック）

(9) その他
・製氷機の設置

4　マリーナ職員による安全対策

(1) 構内見回り点検（１回以上／日）
(2) 上下架装置の安全点検（１回／日）
(3) 海上安全指導
(4) 荒天時警戒（保管艇）
(5) 桟橋貝落とし作業（１回／年）
(6) 緑地公園草刈作業（２回／年）
(7) 強風時増しもやい作業
(8) 施設内洗浄作業

（職員による点検）

（海上安全指導）

5　企画・自主事業

(1) 販売艇展示事業
販売艇(10 艇)を展示し、保管艇の増及びマリーナの振興と活性化を図った。

（販売艇の展示）

(2) レンタルボート事業
気軽に富山湾を体験できるレンタルボート事業を平成 29 年度から実施。令和６年度から新たにクレーンによる船の上下架、船舶用の燃料販売を開始したことにより、現状の職員体制では実施困難のため休止中。

(3) 燃料販売事業
令和６年度から燃料販売業務を開始した。

6　その他

・マリンチック街道の認定

平成 31 年３月から、国土交通省により、プレジャーボート等によるクルージングに、海の駅等に寄港・上陸して近郊の観光地やグルメスポット等を巡るという要素を加えたモデルルートを認定するマリンチック街道として、新湊マリーナを起点・終点とする「富山湾」が認定されている。

Ⅳ　県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県営渡船の堀岡発着場において陸上作業員が乗下船する旅客及び車両の誘導、その他県営渡船の運航に係る補助業務を行った。